

令和元年度経済学部グローバル社会文化研究センター個人研究費テーマ一覧

No	資格	氏名	研究テーマ
1	教授	本間 純	民族の再編成を通じてみる台湾における民族社会の再構築
2	教授	安田 静	欧州公共劇場および日本の劇場におけるアボネ制度について
3	教授	秋山 孝信	英語 be to 構文における future in the past の用法について
4	教授	伊佐敷 隆弘	存在についての哲学的研究
5	教授	卜部 勝彦	地理教育における地理写真を通じた地図指導に関する研究
6	教授	小笠原 祐子	日本社会におけるジェンダー構造の変化
7	教授	奥田 智	高校生を対象とした能動的な市民を育成するためのプログラム開発・普及
8	教授	金田 耕一	福祉国家の思想史的研究
9	教授	齋藤 安彦	高齢者の健康状態及びその変化と要因に関する研究
10	教授	坂野 徹	科学の歴史の総合的研究
11	教授	鈴木 基子	張愛玲の小説に描かれた男性像
12	教授	曾根 康雄	中国の経済体制改革過程におけるマクロ経済管理能力の評価
13	教授	武廣 亮平	課題1「古代出雲の地域社会と氏族」 課題2「武蔵国の歴史とその展開」
14	教授	田村 真奈美	英国ヴィクトリア朝文学の文化研究
15	教授	鄭 亨奎	中国における朝鮮族の言語教育の研究—改革開放以降を中心に—
16	教授	徳永 志織	スペイン語学習過程において日本人学習者が遭遇する文法の諸問題を考える
17	教授	中嶋 康裕	ミノウミウシ類の配偶行動の種間比較
18	教授	中村 光宏	連続音声における音声実現と音形使用に関する理論的・実証的研究
19	教授	根村 直美	<クリティカルなポストヒューマニズム>とは何か—ヒューマニズムとの断絶と連続を探る—
20	教授	山岸 郁子	大衆文学の研究 1950-70年代を中心として
21	教授	リチャード・パウエル	「東南・南アジアでのシャリア法と言語政策」
22	准教授	位田 将司	1910年代～30年代における文学の商品化とそれに関わる哲学思想の研究
23	准教授	岡島 慶	現代英語圏文学におけるナイジェリア系作家の作品研究

No	資格	氏名	研究テーマ
24	准教授	岡本 奈穂子	ドイツ、ザクセン州における移民・難民の社会統合政策
25	准教授	加藤 嘉津枝	①日本人EFL大学生の英文多読—その学習効果について ②日本人EFL学習者における中学英語の定着度について ③日本人EFL学習者に対する音読の効果について
26	准教授	笠貫 葉子	認知言語学的視点からの比喩研究
27	准教授	篠ヶ谷 圭太	授業外学習と授業内の学習の連動による教育効果の検証
28	准教授	杉藤 久志	中世および近代英文学における夢とフィクションの関係
29	准教授	松倉 力也	人的災害たる少子高齢化～健康序列の視点からの再考
30	准教授	村岡 哲郎	雪面外でのスキー学習法の開発
31	准教授	藪越 知子	EFL学習環境における自己調整学習—TOEIC/TOEFL成績との関係
32	専任講師	生亀 清貴	分割表解析における潜在分布の推定に関する研究
33	専任講師	久井田 直之	中等教育の英語教科書語彙を活用した経済学教育の教材開発
34	専任講師	越澤 亮	ターゲットの移動予測時における視線活動と脳内処理の解明—移動途中で遮蔽されるターゲットを用いての検討—
35	専任講師	佐藤 温	幕末社会における文人の諸相についての研究
36	専任講師	高草木 邦人	20世紀初頭のルーマニアにおける小学校教師の心性と運動
37	専任講師	戸塚 英臣	VBAを用いた統計教育教材の開発とその効果測定
38	専任講師	バターフィールド・ジェフリー	英語由来の外来語使用の英語学習者への英語の理解度や正確性における影響
39	専任講師	ハッチンソン・キャロライン	a)自律性と学習に対する意欲 b)Content and Language Integrated Learning(CLIL, 内容言語統合型学習)
40	専任講師	林 直樹	日本語社会の動態解明
41	専任講師	平木 貴子	行動変容技法を導入した授業が大学生の生活習慣の改善に与える影響